

# 第3章 障がい者・児をとりまく状況

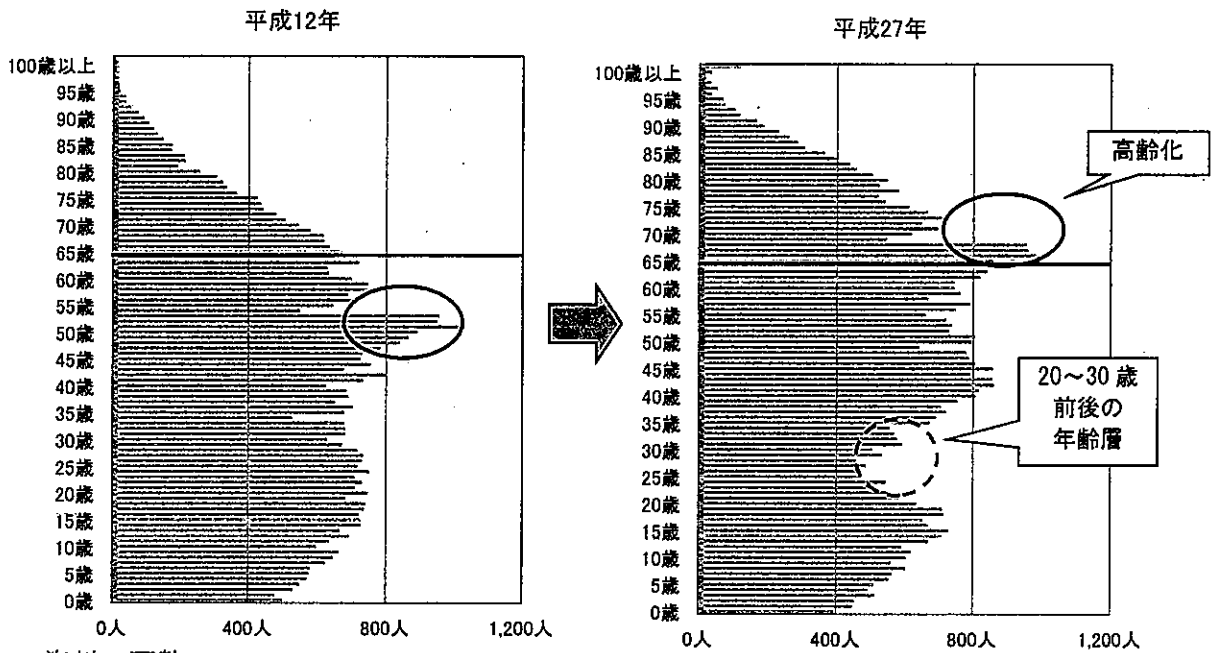
## 1. 総人口の推移

### (1) 人口構成の推移

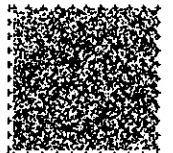
国勢調査によると、平成12年と平成27年における小郡市の人口構成の推移についてみると、子どもの人口はやや減少しており、60歳以上の高齢者人口は増加しており、15年の間に人口構成が大きく変化していることがわかります。

また、多くが結婚・出産を経験する20～30歳前後の年齢階層については、特に25～30歳が減少しており、今後小郡市においても出生率の低下や少子化が予測されます。

<人口構成の推移>



資料：国勢



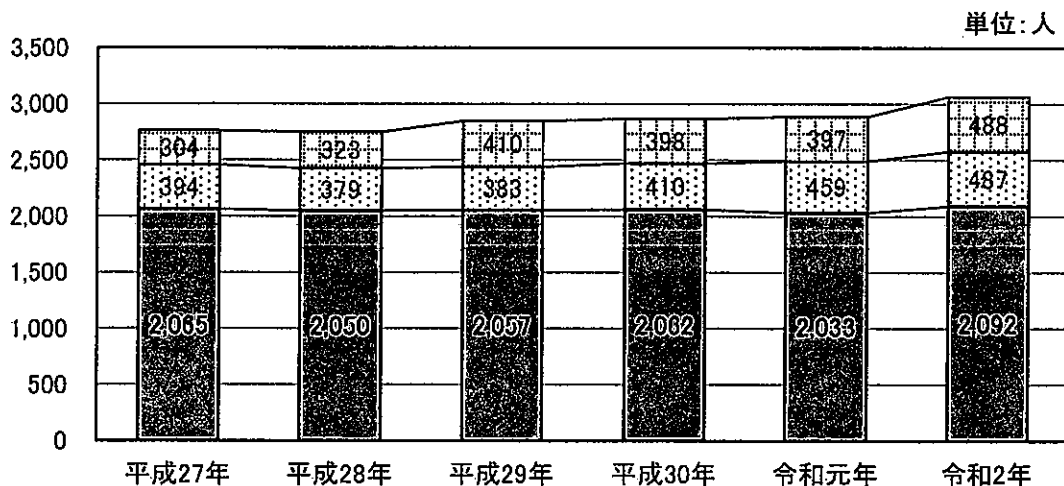
## 2. 障がい者・児の状況

### (1) 全体の状況

令和2年4月1日現在の障がい者手帳所持者数は3,067人(身体障害者手帳：2,092人、療育手帳：487人、精神障害者保健福祉手帳：488人)となっています。平成27年と比較すると、304人(身体障害者手帳：27人増加、療育手帳：93人増加、精神障害者保健福祉手帳：184人増加)増加しています。また、手帳所持率(総人口に占める手帳所持者の割合)は、障がい者・児全体で5.15%となっています。

#### <障がい者手帳所持者数の推移>

□身体障害者手帳所持者数 □療育手帳所持者数 □精神障害者保健福祉手帳所持者数

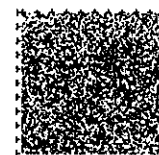


各年4月1日現在

		平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	
障がい者 手帳所持者	身体障害者手帳所持者数(人)	2,065	2,050	2,057	2,062	2,033	2,092	
	総人口に占める割合(%)	3.48%	3.47%	3.47%	3.47%	3.42%	3.51%	
	療育手帳所持者数(人)	394	379	383	410	459	487	
	総人口に占める割合(%)	0.66%	0.64%	0.65%	0.69%	0.77%	0.82%	
	精神障害者保健福祉手帳所持者数(人)	304	323	410	398	397	488	
	総人口に占める割合(%)	0.51%	0.55%	0.69%	0.67%	0.67%	0.82%	
	計(人)	2,763	2,752	2,850	2,870	2,889	3,067	
	総人口に占める割合(%)	4.66%	4.65%	4.81%	4.83%	4.85%	5.15%	
自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数(人)		710	774	728	801	861	928	
		総人口に占める割合(%)	1.20%	1.31%	1.23%	1.35%	1.45%	1.56%

各年4月1日現在

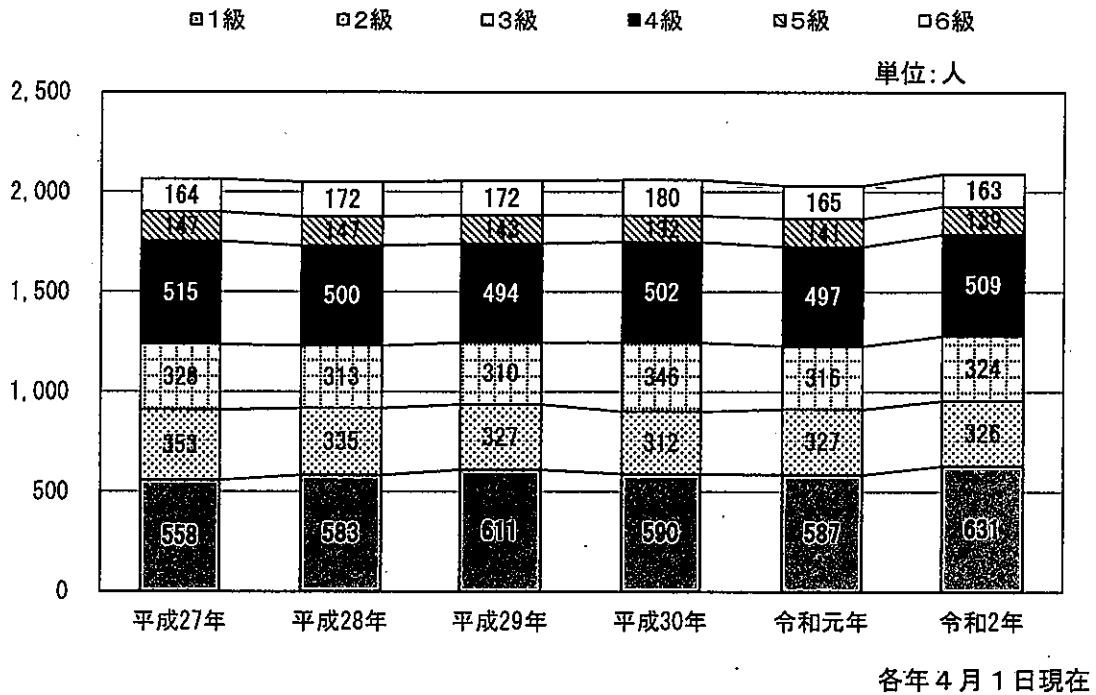
※重複障がいの場合、全てに計上しています



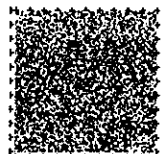
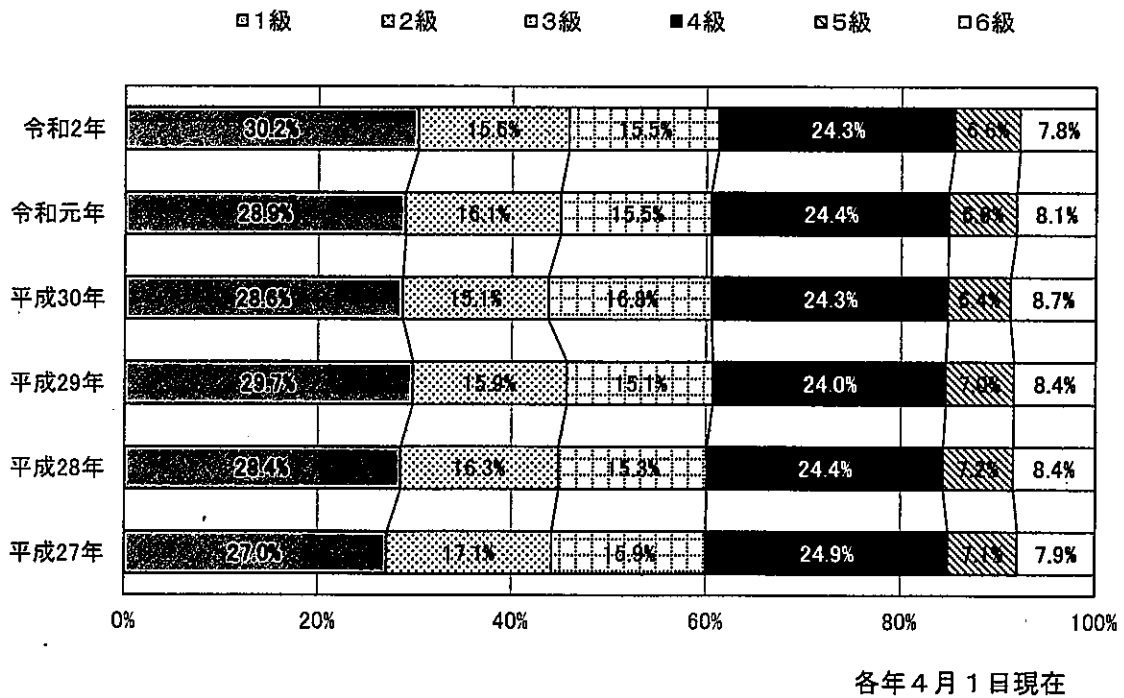
令和2年4月1日現在の身体障害者手帳所持者数を等級別にみると、重度（「1級」「2級」）が全体の約46%、中度（「3級」「4級」）が全体の40%であり、中重度（「1級」「2級」「3級」「4級」）で全体の8割以上を占めています。

「1級」は平成30年度との比較で7%ほど増加しています。

＜身体障害者手帳所持者数（等級別）の推移＞



＜身体障害者手帳所持者数（等級別）構成比の推移＞

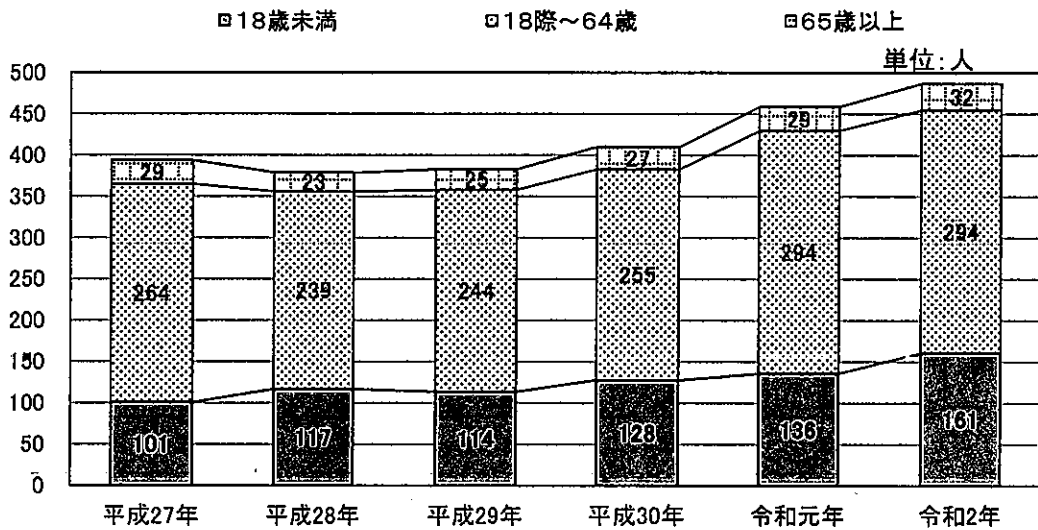


### (3) 療育手帳所持者の状況

令和2年4月1日現在の療育手帳所持者数を年齢別にみると、「18歳未満」は161人、「18～64歳」は294人、「65歳以上」は32人となっており、令和2年が最も多く、全体の人数が487人となっており、平成28年以降増加傾向にあります。

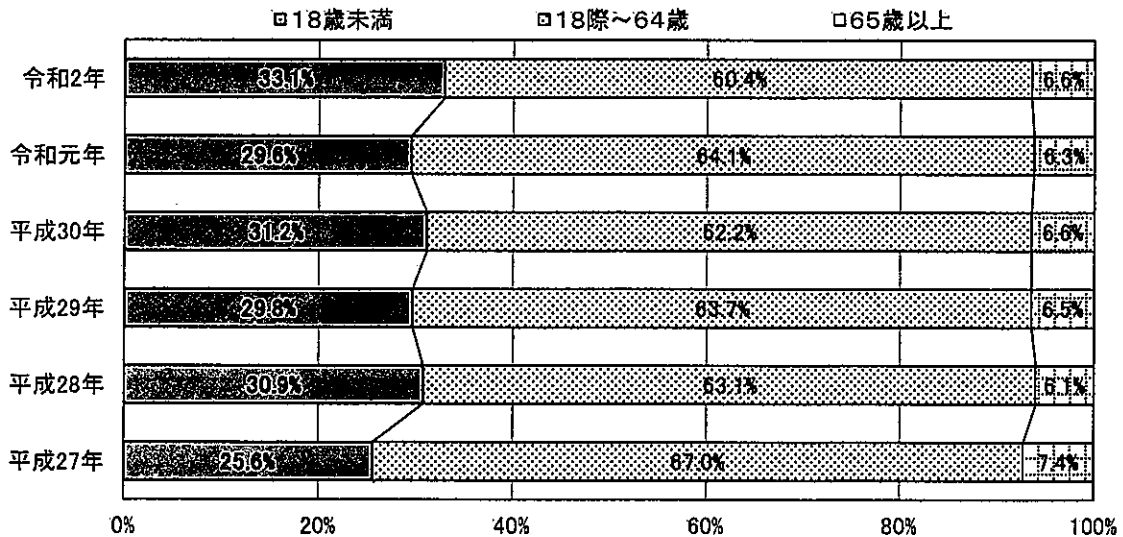
年齢別構成比の推移でみると、18歳未満の比率が増加傾向にあり、令和元年度にはいったん減少し30%を下回りましたが、令和2年度には33%を超え、再び増加傾向にあります。

＜療育手帳所持者数（年齢別）の推移＞

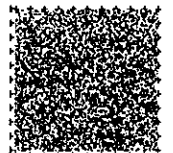


各年4月1日現在

＜療育手帳所持者数（年齢別）構成比の推移＞



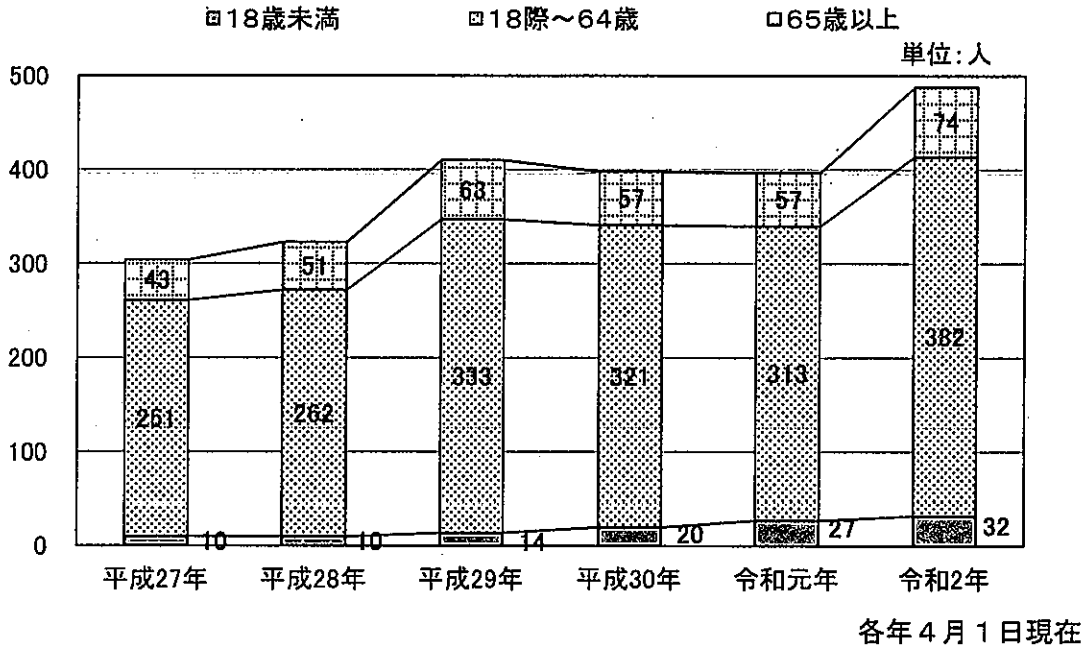
各年4月1日現在



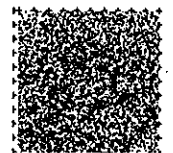
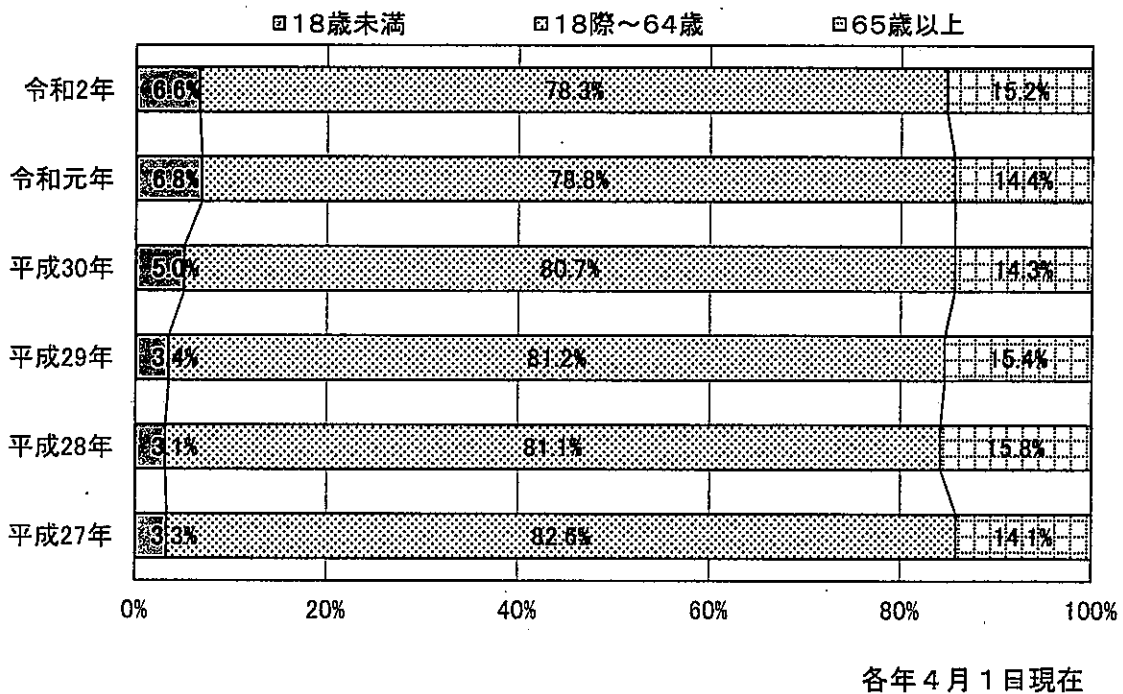
(4) 精神障害者保健福祉手帳所持者の状況

令和2年4月1日現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数を年齢別にみると、「18歳未満」は32人、「18～64歳」は382人、「65歳以上」は74人となっており、年々増加しています。年齢別構成比をみると、いずれの年においても「18～64歳」が最も多く8割前後を占めています。

<精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢別）の推移>

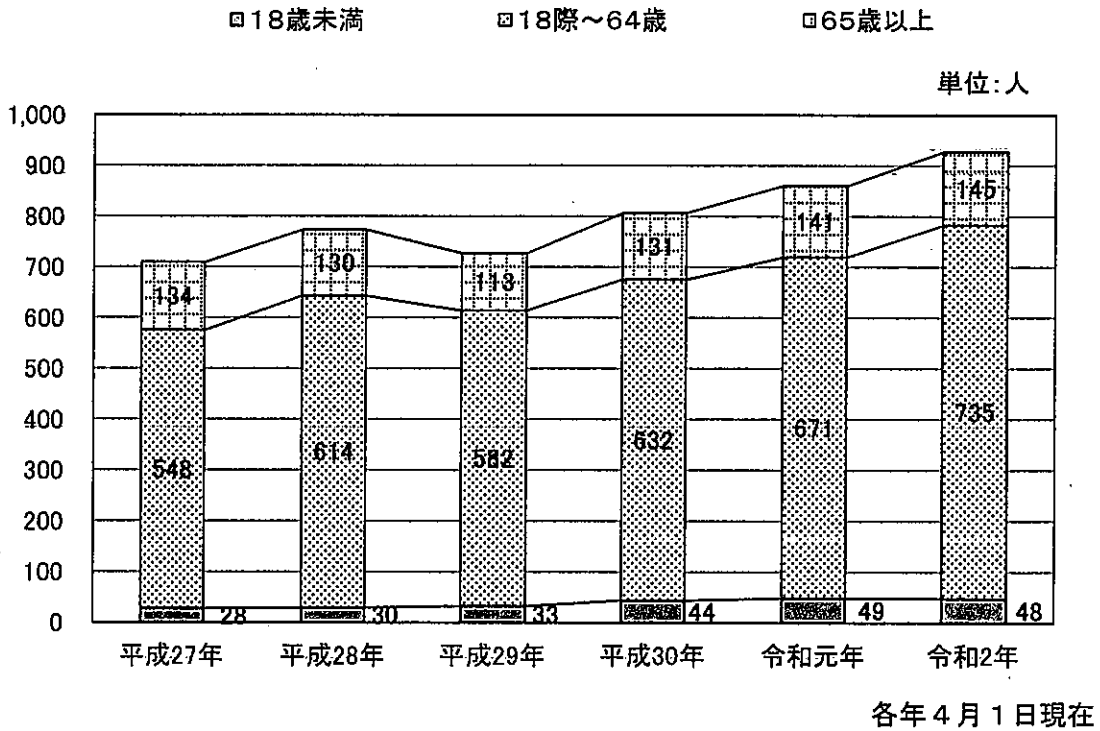


<精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢別）構成比の推移>

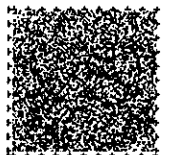
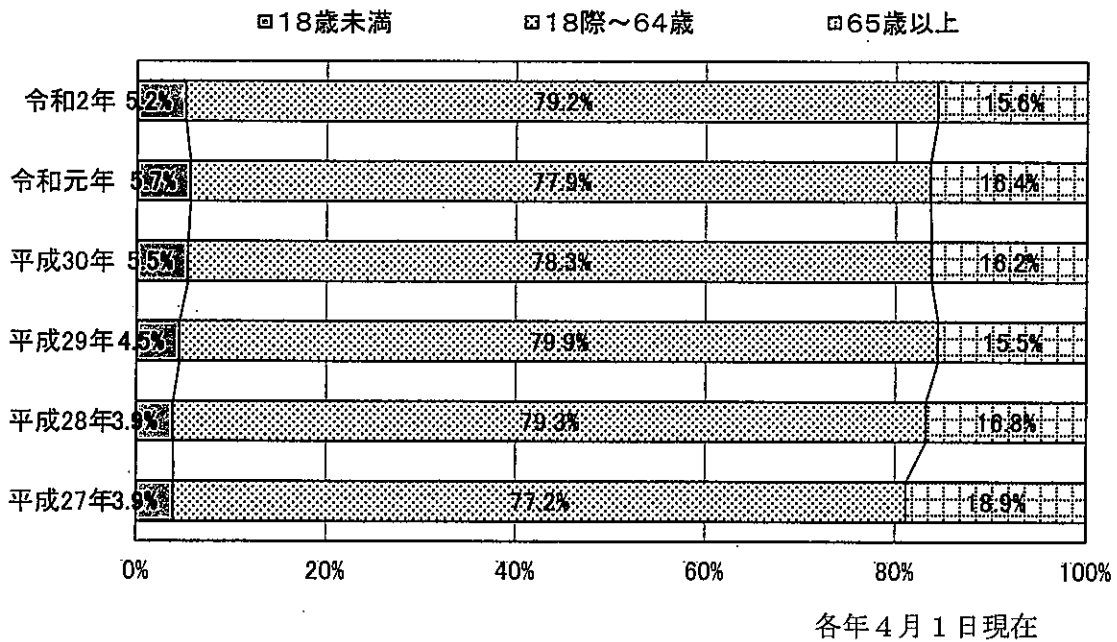


令和2年4月1日現在の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数は928人で、精神障害者保健福祉手帳所持者数（488人）を大きく上回っています。年々増加傾向にあり、平成27年4月1日の受給者数と比較すると、令和2年は3割以上増加しています。

＜自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（年齢別）の推移＞



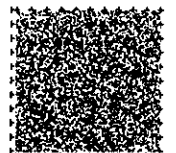
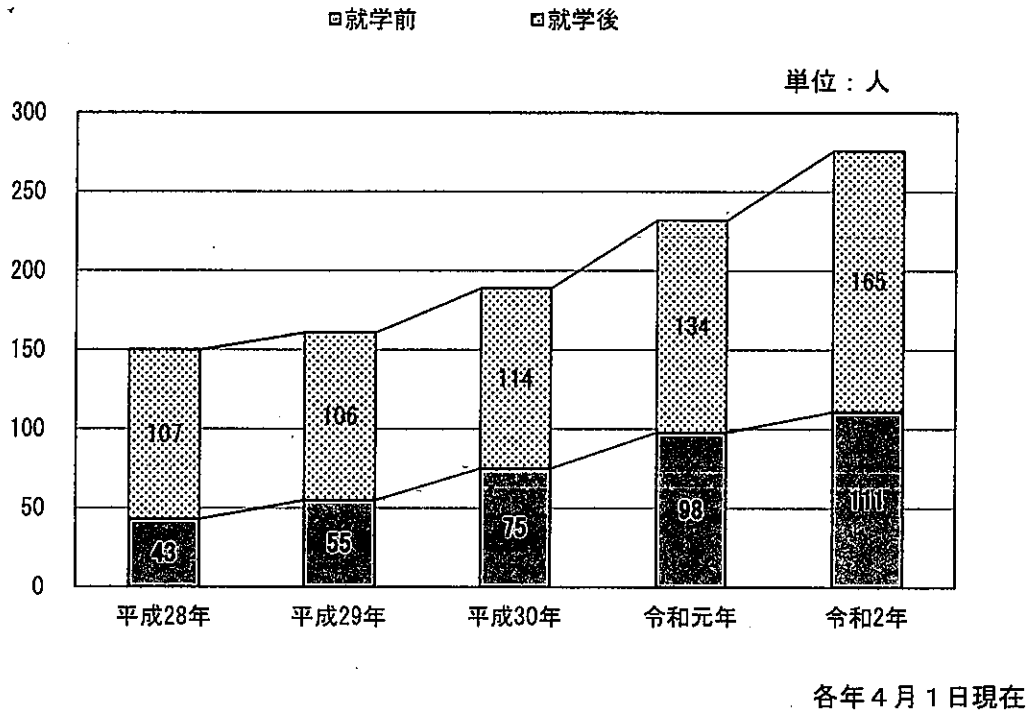
＜自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（年齢別）構成比の推移＞



障がい児通所受給者証の発行数は、増加の一途をたどっています。平成28年から令和2年で1.8倍となっており、ニーズは増加傾向にあります。

＜障がい児通所受給者証所持者数の推移＞

＜障がい児通所受給者証所持者数の推移＞

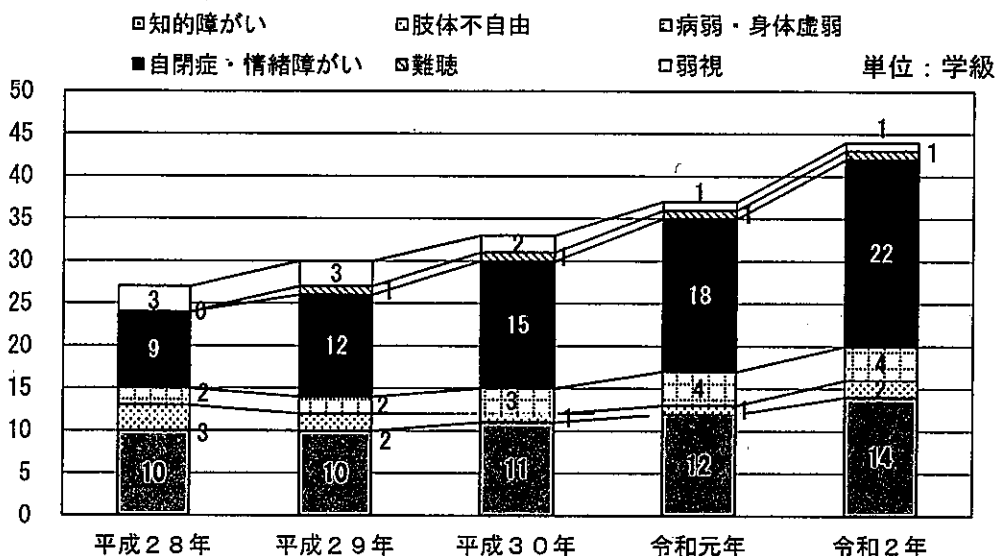


### 3. 就学等の現状

#### (1) 小学校の特別支援学級の状況

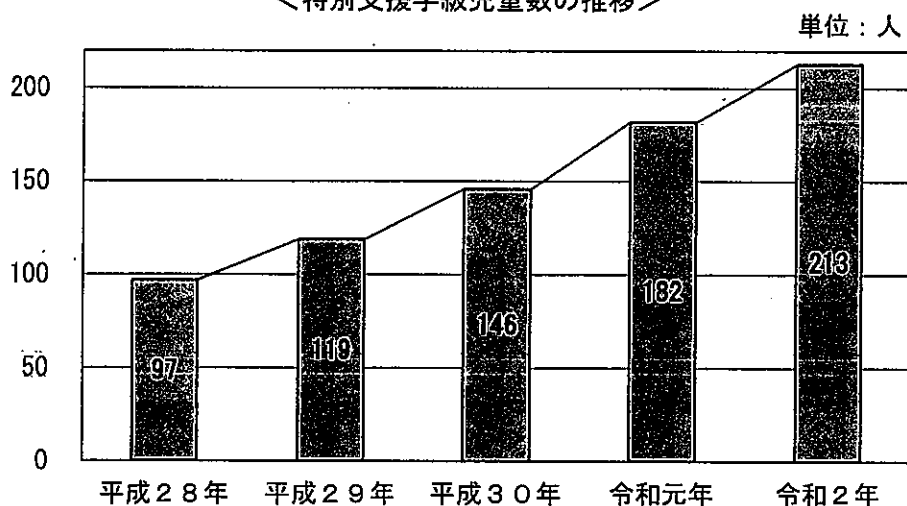
市内の公立小学校8校全てに特別支援学級が設置されており、学級数をみると年々増加し、特に自閉症・情緒障がい学級の学級は約1.8倍に増えています。児童数をみると、平成28年から令和2年の間で、97人から213人となり、約2.2倍となっています。

<特別支援学級数の推移>

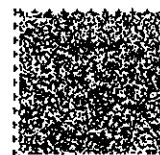


資料、学校基礎調査 各年5月1日現在

<特別支援学級児童数の推移>



資料、学校基礎調査 各年5月1日現在





#### 4. 障がい福祉関係事業費（扶助費）の現状

障がい福祉関係事業費（扶助費）全体は、5年間を通して増加傾向にあります。特に障がい福祉サービス費、障がい児施設給付費は年々増加傾向にあります。平成27年から令和元年では、障がい福祉サービスでは約1.3倍、障がい児施設給付費では約3.1倍となっています。

<障がい福祉関係事業費（扶助費）の現状>

